

# 調 査 書

				※					※	
学 籍	ふりがな		生 年 月 日		性別		学 習 の 記 録			
	氏 名		平成 年 月 日				教科	2年 評定	3年 評定	観点別評価
	現 住 所						国 語			ア イ ウ
欠 席	卒 業		令和 年 月		卒業見込 ・ 卒 業		社 会			ア イ ウ
	学 年	1 年	2 年	3 年			数 学			ア イ ウ
	日 数						理 科			ア イ ウ
総 合 的 な 学 習 の 時 間	観 点		評 価		学 習 活 動 等					
	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
特 別 活 動	活 動 内 容		評 価		特 記 事 項					
	学級活動									
	生徒会活動									
	学校行事									
部 活 動 等										
行 動 の 記 録	項 目	評 価	項 目	評 価	所 見					
	基本的な生活習慣		思いやり・協力							
	健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護							
	自主・自律		勤 労 ・ 奉 仕							
	責 任 感		公 正 ・ 公 平							
創 意 工 夫		公 共 心 ・ 公 徳 心								
趣 味 ・ 特 技			備 考							
本書の記載事項に誤りのないことを証明する。 令和 年 月 日										
学校所在地 中学校名 校長氏名 <span style="float: right;">印</span>										
記載者氏名 <span style="float: right;">印</span>										
							選 択 教 科	学 年 ・ 教 科 名		
							2 年			
								3 年		
							特 記 事 項			

# 学習成績等一覧表(甲)

## 1 各教科の学習の記録

学年	教科 評定	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技・術 家庭	外国語
		第2学年	5の人数							
	4の人数									
	3の人数									
	2の人数									
	1の人数									
	計									
第3学年	5の人数									
	4の人数									
	3の人数									
	2の人数									
	1の人数									
	計									

## 2 観点別学習状況の評価

観点	Aの人数
国語	ア
	イ
	ウ
社会	ア
	イ
	ウ
数学	ア
	イ
	ウ
理科	ア
	イ
	ウ
音楽	ア
	イ
	ウ
美術	ア
	イ
	ウ
保健 体育	ア
	イ
	ウ
技・術 家庭	ア
	イ
	ウ
外国語	ア
	イ
	ウ

## 3 総合的な学習の時間の記録

観 点	○の人数
知 識 ・ 技 能	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	
主体的に学習に取り組む態度	

## 4 特別活動の記録

評価	活動内容	学級活動	生徒会活動	学校行事
○ の 人 数				

## 5 行動の記録

項 目	○の人数	項 目	○の人数
基本的な生活習慣		思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤 労 ・ 奉 仕	
責 任 感		公 正 ・ 公 平	
創 意 工 夫		公 共 心 ・ 公 徳 心	

## 6 在籍人数等

学年	項目	評定人数	在籍人数	転入・転出人数		過年度卒業者の志願者人数
				転 入	転 出	
第2学年						
第3学年						

令和 年 月 日

学校所在地  
中学校名  
校長氏名

印

# 学習成績等一覽表(乙)

( 枚中の 枚目)

事 項	各 科 目										評 定										行 動 の 記 録										備 考														
	第 2 学 年					第 3 学 年					学 校 行 事					特別活動の記録					学 校 行 事					特別活動の記録																			
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	外 国 語	外 国 語	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	外 国 語	外 国 語	基 本 的 な 生 活 習 慣	健 康 ・ 体 力 の 向 上	自 主 ・ 自 律	責 任 感	創 意 工 夫	思 い や り ・ 協 力	生 命 尊 重 ・ 自 然 愛 護	勤 労 ・ 奉 仕	公 正 ・ 公 平	公 共 心 ・ 公 徳 心															
番 号																																													
氏 名																																													
5 (○) の人数																																													
小 4 の人数																																													
3 の人数																																													
計 2 の人数																																													
1 の人数																																													
															令和																				日										
															学校所在地																				日										
															中学校名																				日										
															校長氏名																				日										
															[印]																				日										



# 海外在住状況等説明書

令和 年 月 日

富山県立 高等学校校長 殿

本人氏名 (ふりがな)

保護者氏名

1 出国年月日 年 月 日

2 帰国年月日 年 月 日

3 海外在住期間 年 月 日

4 出国前・海外在住中・帰国後の教育歴

学 校 名	学 校 所 在 地 (国名・都市名等)	期 間
		年 月 ~ 年 月
備		
考		

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

中学校名

校長氏名



# 推薦入学願書

※ No. \_\_\_\_\_

令和 年 月 日

富山県立 高等学校校長 殿

中学校名

本人住所

本人氏名 (ふりがな)

平成 年 月 日生

**推 薦**

下記のとおり推薦入学を志願いたします。  
なお、合格内定の通知を受けた場合は、貴校に入学することを確約いたします。

記

志 願	学 科	科
	コ ー ス	コ ー ス

〒 □ □ □ □ - □ □ □ □ □ □

保 護 者 住 所 氏 名

注・普通科のコースを志願する者は、コース名を必ず記入する。  
これら以外を志願する者は、コース欄に斜線を引く。  
・富山県収入証紙には押印をしない。  
・※欄は記入しない。

富山県収入証紙  
2, 200円

※ No. \_\_\_\_\_

## 推 薦 書

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

富山県立 高等学校長 殿  
 中学校名 \_\_\_\_\_ 印  
 校長氏名 \_\_\_\_\_

下記の者は、貴校への入学を希望しており、志願する学科(コース)の志願資格を満たしていると認められるので推薦します。

### 記

生徒氏名				
生年月日	平成	年	月	日生
志願	学科	科		
	コース	コース		
所見	志願資格の(1)～(3)項に係る特記事項について			
	該	a	b	c
見	志願資格の(4)項に係る能力や実績等			
	当	b	c	d
備考				

注・普通科コースの志願者については、学科名及びコース名を記入する。また、これら以外を志願する者は、コース欄に斜線を引く。  
 ・志願資格の(1)～(3)項に係る特記事項については、特記事項があれば記入する。なければ「なし」と記入する。  
 ・「該当項目(a b c d)」は、該当する記号を一つだけ○で囲む。  
 ・備考は、特記事項があれば記入する。なければ「なし」と記入する。  
 ・※欄は記入しない。

## 推 薦 入 学 志 願 者 名 簿

中学校名	校長氏名				印
志願先 高等学校名					
志願者数	男( )名	女( )名	計( )名	性別	備考
※受付番号	志願学科・コース				

注・中学校で2部作成し、志願先高等学校長に提出する。  
 ・志願学科・コースごとにまとめて記入する。  
 ・※欄は記入しない。

# 推薦入学選考結果通知書

令和 年 月 日

中学校長 殿

高等学校名  
校長氏名



貴校から推薦のあった志願者について、下記のとおり決定したので通知します。

### 記

#### 1 合格内定となった者

志願学科・コース	受検番号	氏名

#### 2 合格内定とならなかった者

志願学科・コース	受検番号	氏名

# 合格内定通知書

令和 年 月 日

高等学校名  
校長氏名



受検番号  
中学校名  
氏名

あなたは、令和 4 年度富山県立高等学校推薦入学者選抜において、  
本校全日制の課程 科 に合格が内定したので  
通知します。

なお、次の事項に十分留意してください。

- 1 合格内定の通知を受けた者については、令和 4 年 3 月 16 日(木)午後 0 時 30 分に、合格者として受検番号を発表します。
- 2 合格内定の通知を受けた者は、他の公立高等学校を改めて志願することはできません。

## 入学検査手数料減免申請書

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿

中学校名

本人住所

本人氏名

保護者住所

保護者氏名

富山県立高等学校の授業料等に関する条例第5条により、入学検査手数料を免除されるよう申請いたします。

- 1 入学検査手数料 2,200円
- 2 免除申請額 2,200円
- 3 理由 推薦入学者選抜の出願時に入学検査手数料を納入済みのため

## 入学検査手数料納入済証明書

令和 年 月 日

高等学校名

校長氏名



下記の者は、入学検査手数料（2,200円）を納入したことを証明します。

記

- 1 中学校名
- 2 氏名



# 入学検査手数料減免通知書

令和 年 月 日

高等学校名

校長氏名



中学校名

本人氏名

保護者氏名

令和 年 月 日付で申請のあった令和4年度富山県立

高等学校入学検査手数料が、下記のとおり免除

されましたので通知します。

記

1 免除額 2,200円

※ No. \_\_\_\_\_

# 第2次選抜申請書

(全日制の課程)

令和 年 月 日

富山県立

高等学校長 殿

中学校名

本人住所

本人氏名

平成 年 月 日生

下記のとおり申請いたします。

記

学 科	第1次選抜志願先高等学校名とその学科	高等学校	科
	第1順位	第1順位	科
第2順位	第2順位	第2順位	科

〒 □□□□ - □□□□

住 所  
保 護 者 氏 名

注・第2次選抜志願先高等学校長に提出する。  
 ・第2順位の学科を志望しない者は、斜線を引く。  
 ・※欄は記入しない。

第2次選抜志願先高等学校長へ提出する第2次選抜志願者名簿

※受付番号	志願学科	氏名	性別	新田別	第1次選抜志願先高等学校名とその学科

注 ※欄は記入しない。

上記のとおり第2次選抜志願者名簿を提出します。

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿

中学校名  
校長氏名



第1次選抜志願先高等学校長へ提出する第2次選抜志願者名簿

氏名	性別	第2次選抜志願先高等学校名とその学科	第1次選抜志願学科

上記のとおり第2次選抜志願者名簿を提出します。

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿

中学校名  
校長氏名



### 第 2 次 選 抜 志 願 に つ い て

( 申 請 )

令 和 年 月 日

中 学 校 名  
本 人 氏 名  
保 護 者 氏 名

下記のとおり第 2 次選抜に志願したいので申請します。

#### 記

本人 現 住 所	〒 □□□□ - □□□□ □□
保 護 者 現 住 所	〒 □□□□ - □□□□ □□
第 2 次 選 抜 志 願 先 高 等 学 校 名	高等学校 (第 1 順位志願のみ) 科
第 1 次 選 抜 志 願 先 高 等 学 校 名	高等学校 (第 1 順位志願のみ) 科

注 第 1 次選抜志願先高等学校長に提出する。

### 学 力 検 査 成 績 証 明 書

令 和 年 月 日

富 山 県 立 高 等 学 校 長 殿

学 校 名  
校 長 氏 名



下記の者は、令和 4 年度富山県立高等学校入学者選抜学力検査を受検し、その成績は次  
のとおり相違ないことを証明する。

受 検 者 氏 名 \_\_\_\_\_

社 会	国 語	理 科	英 語	数 学	計

富山県立 高等学校長 殿

## 第2次選抜志願者の調査書送付について

整理番号	氏名	性別	第2次選抜志願先の学科	第1次選抜志願学科	備考

富山県立 高等学校長 殿

令和 年 月 日

高等学校名  
校長氏名

上記のとおり、第2次選抜志願者の調査書を送付します。

## 富山県立高等学校通学区域外入学志願特別事情申請書

富山県教育委員会教育長 殿

令和 年 月 日

(小字が好)  
本人氏名  
保護者氏名

富山県立高等学校通学区域外入学志願特別事情について(申請)

下記の事情により、富山県立 高等学校に入学を志願したいので、関係書類を添えて申請します。

記

本人現住所	〒□□□□-□□□□		
保護者現住所	〒□□□□-□□□□		
志願先高等学校	高等学校	科	(コース)
理由(具体的に記述すること。)			

注 志願先高等学校の欄には、第1順位志願のみを記入する。

上記のとおり相違ないことを証明する。

富山県立 高等学校長 殿

令和 年 月 日

中学校名  
校長氏名

# 区域外志願許可書

(区域外) 第 号

中学校名

(ふりがな)

本人氏名

保護者氏名

令和 年 月 日付けで申請のあった富山県立

高等学校

科への入学志願を許可する。

令和 年 月 日

富山県教育委員会

教育長



# 富山県立高等学校入学志願特別事情申請書

富山県教育委員会教育長 殿

令和 年 月 日

(ふりがな)

本人氏名

保護者氏名

## 富山県立高等学校入学志願特別事情について (申請)

下記の事情により、富山県立高等学校に入学を志願したいので、関係書類を添えて申請します。「県外・海外志願許可書」を受領したうえで、「富山県立高等学校入学志願特別事情」にしたがって志願します。

### 記

本人現住所	
保護者現住所	〒 □□□□ - □□□□ TEL ( )
本県で居住予定の住所	
理由 (具体的に記述すること。)	

上記のとおり相違なく、本都道府県公立高等学校に志願しないことを証明する。

令和 年 月 日

都道府県名及び学校名

校長氏名



上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

都道府県教育委員会名

教育長氏名



# 県外・海外志願許可書

(県外・海外) 第 号

中学校名

本人氏名

保護者氏名

令和 年 月 日付けで申請のあった富山県立高等学校への入学志願を許可します。なお、本書は、入学願書等とともに志願先高等学校長に提出してください。

令和 年 月 日

富山県教育委員会

教育長



注 富山県立高等学校入学者選抜実施要領にしたがって志願してください。

※ No. \_\_\_\_\_

# 入学願書 (定時制の課程)

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿

中学校名  
本人住所 ( )  
勤務先 ( )  
本人氏名 ( )

平成 年 月 日生  
下記のとおり入学を志願いたします。

### 記

第1順位	科	制	部
第2順位	科	制	

定時制

〒 □□□□ - □□□□

住所  
保護者氏名

- 注・志願欄には志願する学科及び授業開設形態(例えば昼間単位制1部、夜間制など)を記入する。「部」の欄は該当するものがない場合は、空欄とする。
- ・第2順位は富山工業高等学校の定時制の課程を志願する者に限る。(第2順位の学科を志願しない者は、斜線を引く。)
  - ・富山県収入証紙には消印をしない。
  - ・電話番号欄は、令和3年3月以前に中学校等を卒業した志願者及び単位制後期の志願者のみ記入する。
  - ・※欄は記入しない。

富山県収入証紙  
950円

定時制の課程入学志願者名簿

中学校名		校長氏名			印		
志願先 高等学校名	志願者数	男( )名	女( )名	計( )名	備	考	
※受付番号	志願学科・授業開設形態	氏	名	性別	新旧別		

- 注・中学校で2部作成し、志願先高等学校長に提出する。  
 ・志願学科(志願第1順位)ごとにまとめて記入する。  
 ・新旧別の欄には、令和3年3月以前の卒業者のみを旧と略記する。  
 ・自己申告書を提出する者については、備考欄に「自己申告」と記入する。  
 ・外国人特別措置適用申請書を提出する者については、備考欄に「外国人特別」と記入する。  
 ・単位制前期第2次選抜において、同第1次選抜と同ー校を志願する生徒については、1次での志願学科及び授業開設形態を「備考」欄に記入する。  
 ・※欄は記入しない。

調査書発行申請書

令和 年 月 日

立 学校長 殿

本人住所  
本人氏名 (A)(B)(C)  
旧姓 (A)(B)(C)

TEL ( ) ( ) ( )

平成 年 月 日 生  
年 3月卒業

このたび、令和4年度富山県立高等学校定時制の課程単位制後期入学選抜において、

富山県立 高等学校 科

昼間単位制Ⅰ部  
昼間単位制Ⅱ部  
夜間単位制

に出席します。つきましては、調査書を作成のうえ、同高等学校に提出いただきたく申請します。

- 注・志願する学科の授業開設形態は、該当するものを○で囲む。  
 ・志願先高等学校の決定後速やかに出身中学校等に提出すること。  
 ・申請書提出後の志願先高等学校の変更は原則として認めない。  
 ・ただし、入学願書を高等学校に提出する前に、やむを得ない事情で志願先高等学校を変更する場合は、速やかに出身中学校等に連絡し、調査書発行申請書を再度提出すること。  
 ・この申請書を提出した後志願を取りやめた場合は、速やかに出身中学校等に連絡すること。

※ No. \_\_\_\_\_

# 入学願書 (通信制の課程)

令和 年 月 日

富山県立雄峰高等学校長 殿  
最終出身学校名

〒 □□□□ - □□□□

本人住所 TEL ( )

勤務先 TEL ( )

本人氏名 (ふりがな)

平成 年 月 日生

下記のとおり入学を志願いたします。

記

学 科	普 通 ・ 衛 生 看 護
-----	---------------

〒 □□□□ - □□□□

住 所  
保 護 者 氏 名

注・学科については、該当するものを○で囲む。  
・富山県収入証紙には消印をしない。  
・枠欄は記入しない。

富山県収入証紙 460円
-----------------

通信制

# 受検上の配慮申請書

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿  
中学校名  
校長氏名

下記のとおり、富山県立高等学校入学受検において、受検上の配慮を申請します。

志願者氏名	性別
志願学科・コース	
希望する配慮事項 <input type="checkbox"/> 別室受検 <input type="checkbox"/> 座席の配慮 <input type="checkbox"/> 拡大鏡等の特参使用 <input type="checkbox"/> その他 <small>該当するものをチェックする。その他の場合、( )内に具体的内容を記入する。</small>	
配慮を希望する理由 (障害等の状況)	
中学校における 日常の配慮事項	

注 中学校で2部作成し、入学願書に添えて志願先高等学校長へ提出する。

以下は高等学校記入

富山県立高等学校入学受検における受検上の配慮について、下記のとおり対応します。

実施する配慮事項 (該当欄をチェックする。その他の場合は内容を記入する。)

希望のとおり  その他

令和 年 月 日  
高等学校名  
校長氏名



# 自己申告書

令和 年 月 日

※ 富山県立 高等学校長 殿

※ 中学校名

※ 本人氏名

保護者氏名

- 提出可能な入学者選抜
- ・全日制の課程一般
  - ・定時制の課程単位制前期第1次
  - ・定時制の課程単位制後期

貴校への入学を志願するにあたり、下記のとおり申告します。

※ (欠席の理由や事情)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※ (高等学校で学びたいこと)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

- 【記入上の注意】
- ・※欄は、本人がボールペンで自筆で必要事項を記入すること。
  - ・保護者氏名欄は、保護者が記名すること。

# 外国人特別措置適用申請書

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿

(姓 氏 名)

本人氏名

保護者氏名

下記の事項に基づき、富山県立高等学校入学者選抜において、外国人特別措置の適用を申請します。

## 記

1 入国年月日 年 月 日

2 入国後の教育歴

学 校 名	学 校 所 在 地 (都道府県名)	期 間
		年 月 ~ 年 月

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

中学校名

校長氏名



出願書類郵送連絡票

令和 年 月 日

富山県立 高等学校校長 殿

中学校名  
校長氏名 

貴校へ出願書類を下記のとおり、書留速達で郵送したので連絡します。

記

- 投函日時 令和 年 月 日 時
- 受付郵便局 \_\_\_\_\_ 郵便局
- 配達予定郵便局 \_\_\_\_\_ 郵便局 (配達予定日 月 日)
- 郵送書類内訳

学 科	コース	人 数		備 考
		男	女	
合 計				

担当者氏名 ( \_\_\_\_\_ ) 電話番号 ( \_\_\_\_\_ )

- (注1) ファクシミリでの連絡も可とする。その場合、必ず高等学校側の担当者に事前に電話で連絡し、ファクシミリの側に待機してもらい、送信終了後には受信を確認すること。
- (注2) 出願書類には、高等学校からの受領証(一般入学では、様式2「一般入学志願者名簿」2部提出のうち1部、推薦入学では、様式6「推薦入学志願者名簿」2部提出のうち1部、定時制の課程では、様式23「定時制の課程入学志願者名簿」2部提出のうち1部。)の返送用封筒を同封すること。(返送用封筒には切手を貼っておくこと。)

欠席者連絡票

 取扱注意

令和 年 月 日

富山県立 高等学校校長 殿

中学校名  
校長氏名 

以下の者より、令和 年 月 日実施される検査を欠席する旨の申し出がありましたので、連絡します。

志願学科	受付番号	氏 名	性別	欠 席 の 理 由						
				①	②	③	④	⑤	⑥	

- (注1) 記入方法  
欠席の理由の分類は、以下のとおりとし、該当する欄に○をつける。
- ① 県内外私立高等学校入学
  - ② 県内外高等専門学校入学
  - ③ 家庭の事情
  - ④ 病気(含風邪)
  - ⑤ 県外転出
  - ⑥ その他(備考欄に記入)

- (注2) 取扱上の留意点
- 当該高等学校の求めに応じて、この票の手渡し、あるいは、電話等で連絡する。ファクシミリでの連絡は、不可とする。
  - 生徒のプライバシーの保持には特に留意すること。
  - 第1日目の欠席連絡時に、第2日目の欠席も明らかである場合には、その旨を伝えること。この票による連絡の場合は、備考欄に両日欠席と記載すること。

### 追検査受検申請書

令和 年 月 日

富山県立 高等学校長 殿

中学校名

志願者氏名

保護者氏名

下記の理由により一般入学者選抜を欠席しましたので、追検査の受検を申請します。

志願学科・コース	
欠席した検査日 (該当欄をチェックする)	<input type="checkbox"/> 第1日及び第2日 <input type="checkbox"/> 第2日
理由	

注 ・2部作成し、中学校長から志願先高等学校長へ提出する。  
・理由を証明する書類を添付すること。

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日 中学校名

校長氏名

印

以下は高等学校記入

追検査の受検について、下記のとおりとします。

承認する検査 (該当欄をチェックする)

- 第1日及び第2日に実施した検査
- 第2日に実施した検査

令和 年 月 日 高等学校名

校長氏名

印

以上の様式1から様式31に記載された個人情報、富山県立高等学校入学者選抜(志願者の確認、志願者への連絡等を含む。)に使用します。

# 全日制の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧

- ・募集定員欄の( )は募集定員の内数である。
- ・募集人員が「～程度」と表記されている場合は、推薦募集人員の上限を超えない範囲で、高等学校長が2名までの幅で募集人員を超えて合格内定者を決めることができる。
- ・推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等欄のa、b、c、dとは、令和4年度富山県立高等学校入学者募集要項第2の1(3)の規定により、推薦入学を実施する学校が同欄に明示したものを除き、同要項第2の2(4)に掲げる次のa、b、c、dをいう。
  - a 調査書の「学習の記録」が優良であること。
  - b 専門に関する優れた能力又は実績があること。
  - c 芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があること。
  - d 生徒会活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。

学校 校名	学 科 名	募 集 定 員	コ ー ス 開 設 学 年	一 般 選 抜			推 薦 選 抜						
				傾 斜 配 点	面 接	実 技 検 査	募 集 人 員	推 薦 志 願 資 格 ( a ・ b ・ c ・ d ) 別 人 員 等			面 接	作 文	実 技 検 査 内 容
入	普 通 (自然科学コース)	160	2年次				8 程度	a b c d 合計8名 b (数学・理科のいずれかに興味・関心のある者、又は体験活動、探究活動に意欲的に取り組む者) c (部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者) d (生徒会やボランティア活動を継続的にを行い、その活動に貢献した者)	個人	有			
	(観光ビジネスコース)		2年次				8 程度	a b c d 合計8名 b (地域の魅力の発掘、コミュニケーションに興味・関心のある者、又は体験活動、探究活動に意欲的に取り組む者) c、d は「自然科学コース」と同じ	個人	有			
善	農 業	30					12 程度	a b c d 合計12名 b (植物の栽培に興味があり、実験や実習に意欲的に取り組む者) c (部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者) d (生徒会やボランティア活動を継続的にを行い、その活動に貢献した者)	個人	有			
桜	普 通	120											
	土 木	40					18 程度	a b c d 合計18名 b (数学や理科が得意で、土木技術に興味・関心のある者、又は土木系の大学等への進学や資格取得を目指す者) c (芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があり、入学後も継続する意欲のある者) d (生徒会活動、社会奉仕活動等に継続的に取り組んだ実績があり、入学後も意欲をもってその活動に参加する者)	個人	有			
	井 生 活 環 境	40					18 程度	a b c d 合計18名 b (技術・家庭が得意で、生活や環境に興味・関心のある者、又は生活関連産業学科への進学や資格取得を目指す者) c (土木科のcに同じ) d (土木科のdに同じ)	個人	有			
魚津	普 通	160											
魚津工業	機 械	40					16 程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、技術・家庭等が優良で、専門技術に興味・関心がある者、又は工業系の大学等への進学を目指す者) b (機械の仕組み・機械加工などに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c (部活動等において優れた能力、又は実績があり、入学後も継続して活動する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有			
	電 気	40					16 程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (電気の仕組み・プログラムによる制御などに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有			
	情 報 環 境	40					16 程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (環境保全や化学の観察・実験、又は機械の制御・ロボットなどに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有			
滑川	普 通	80											
	薬 業	40					18 程度	a b 合計(約9名) c d 合計(約9名) b (国語、数学、理科、技術・家庭のうち、いずれか3教科に優れている者) c (部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有			
	商 業	40					18 程度	a b 合計(約9名) c d 合計(約9名) b (国語、社会、数学、技術・家庭、英語のうち、いずれか3教科に優れている者) c (部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有			
上 市	海 洋	40					18 程度	a b 合計(約9名) c d 合計(約9名) b (国語、数学、理科、保健体育、技術・家庭のうち、いずれか3教科に優れている者) c (部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有			
	總 合	150					45 程度	a b c d 合計45名 a (学習活動全般に積極的に取り組みさらに向上を目指す者) b (農業、家庭、福祉、商業系の専門分野に興味・関心が高い者) c (部活動等における実績や意欲があり、入学後、本校の部活動等で活動する者) d (生徒会活動やボランティア活動等において実績があり、入学後も積極的に活動する者)	個人	有			
雄 山	普 通	120											
	生 活 文 化	30					10 程度	a b c d 合計10名 a (学習活動に顕著な成果が見られる者) b (技術・家庭に興味・関心が高く、優れており、資格取得に意欲的な者) c (専門学科に興味・関心がある者で、部活動の能力又は実績があり、入学後も継続できる者) d (生徒会活動や継続的なボランティア活動の実績があり、入学後も活躍が期待できる者)	個人	有			

☆：桜井高等学校普通科については、募集定員のうち、5名を帰国生徒の受入れ枠とする。



学校名	学科名	募集定員	コース開設学年	一般選抜			推薦選抜														
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面接	作文	実技検査内容	備考								
中央農業	生物生産	78			集団		36程度	a b c d 合計36名 b (植物の栽培や動物の飼育に興味・関心が高く、意欲的に実験・実習に取り組む者) c (同一の部活動に継続して積極的に取り組んだ実績のある者) d (生徒会活動及び学級活動において活躍した者又は奉仕活動を継続的に行った者)	個人	有											
	園芸デザイン																				
	バイオ技術																				
八尾	普通(福祉コース)	160	2年次				18程度	a (約9名) c d 合計(約9名) a (福祉に興味・関心がある者で、調査書の「学習の記録」が優良である者) c (福祉に興味・関心がある者で、部活動において優れた能力又は実績があり、入学後も継続できる者) d (福祉に興味・関心がある者で、生徒会活動や継続的な社会奉仕活動の実績があり、入学後も活躍が期待できる者)	個人	有											
	普通	160																			
富山西	普通	200																			
富山中	探究科学	(約40) 80 (約40)																			
	理数科学																				
	人文社会科学																				
富山中	普通	200																			
	探究科学																				
	理数科学																				
富山中	普通	(約40)	1年次	保体2.0倍		志願者は、以下の中から1種目を選択する。選択した種目の基礎的な能力検査を実施する。 ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女)	24	b 24名 b (以下の種目に関して、優れた能力、又は実績がある者) ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女) ・その他の種目	個人	有	<共通種目> ・20m折り返し走(40m走) ・立ち幅とび ・ハンドボール投げ <選択種目> 志願資格の「その他の種目」の中から1種目を選択する。選択した種目の基礎的な能力検査を実施する。 ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女)	学校所定の運動競技種目の実技書提出									
	くすり・バイオ												80				32程度	a b c d 合計(約32名) b (数学、理科の教科が得意であり、「薬の製造や分析」及び「人の健康」「バイオテクノロジー」に興味・関心が高く、薬業関係等への進路を目指す者) c (部活動等において実績や能力・意欲があり、入学後も継続的に部活動に参加し、学習との両立を目指す者) d (生徒会やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後も意欲を持ってこれらの活動に参加しようとする強い意志を持つ者)	個人	有	
	情報デザイン												40				18程度	a b c d 合計(約18名) b (美術、技術・家庭の教科が得意であり、デザインやコンピュータ・グラフィックスに興味・関心が高く、デザインやビジネス系の大学等へ進学を目指す者) c (くすり・バイオ科のcに同じ) d (くすり・バイオ科のdに同じ)	個人	有	円柱又は立方体の鉛筆デッサン(60分)
富山工業	機械工学	80					32程度	a b c d 合計32名 a (数学、理科、技術・家庭等が得意で、専門技術に興味・関心がある者、又は、工業系の大学等を目指す者) b (機械の仕組みなどに興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者) c (部活動において優れた能力又は実績があり、入学後も継続的に部活動に参加しようとする強い意志をもつ者) d (生徒会やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後も意欲をもって、その活動に参加する者)	個人	有											
	電子機械工学	40					16程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (機械の制御やロボットなどに興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有											
	金属工学	40					16程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (工業材料に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有											
	電気工学	80					32程度	a b c d 合計32名 a c d (機械工学科に同じ) b (電気に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有											
	建築工学	40					16程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、技術・家庭、美術等が得意で、専門技術に興味・関心がある者、又は、建築系の大学等を目指す者) b (建築や美術の分野に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者) c d (機械工学科に同じ)	個人	有											
	土木工学	40					16程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (土木技術に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有											

☆：探究科学科は理数科学科と人文社会科学科の総称である。

学校名	学科名	募集定員	コース開設学年	一般選抜			推薦選抜					
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面接	作文	実技検査内容
富山商業	流通ビジネス	80					40	a b c d 合計40名	個人	有		
	ビジネスマネジメント	40					20	a b c d 合計20名	個人	有		
	会計ビジネス	40					20	a b c d 合計20名	個人	有		
	情報ビジネス	80					40	a b c d 合計40名	個人	有		
富山いずみ	総合	150					45程度	a(約13名) b(約17名) c d 合計(約15名) a(学習活動全般に優れていて、さらに向上を目指す者) b(「英語と国語」あるいは「英語と社会」が優れていて、さらに向上を目指す者) b(「数学と理科」が優れていて、さらに向上を目指す者) b(「技術・家庭」と「国語、社会、数学、理科、英語のうち1教科」が優れていて、さらに向上を目指す者) c(部活動において能力や実績があり、入学後も本校の部活動で継続して意欲的に活動する意志がある者) d(生徒会活動やボランティア活動などに実績があり、入学後も継続して活動する意志がある者)	個人	有		
	看護	40					14程度	a c d 合計14名 a c d(総合学科に同じ)	個人	有		
富山東	普通 (自然科学コース)	240 (約40)	1年次				12程度	a b 合計12名 b(数学・理科について興味・関心が高く、優れている者)	個人	有		
富山南	普通 (国際コース)	200	2年次				8程度	a b 合計8名 a(調査書の「学習の記録」が優良であり、学習意欲の高い者) b(英語に興味・関心が高く、優れている者)	個人	有		面接は英語による口頭問答を含む。
呉羽	普通 (音楽コース)	230 (約30)	1年次	音楽 2.0倍	<声楽を選択する者> 本校教諭がピアノ伴奏し、受検者は自由曲を暗譜で歌唱(3分程度)。移調を認める。 <器楽(ピアノ)を選択する者> 受検者は選択曲(推薦入学者選抜に準ずる)を暗譜で演奏(3分程度)。 <器楽(ピアノ以外)を選択する者> 受検者は自由曲を暗譜で演奏(3分程度)。無伴奏。 (注) 声楽を選択する者の新曲視唱及び器楽を選択する者の歌唱は実施しない。	学校所定の受検曲票及び楽譜の提出 (推薦入学者選抜に準ずる)	18	b 18名 b(音楽に関する優れた能力、又は実績のある者)	個人		<声楽を選択する者> ・自由曲を暗譜で歌唱 ・新曲視唱 <器楽(ピアノ)を選択する者> ・選択曲を暗譜で演奏 ・自由曲歌唱 〔選択曲の詳細については、本校「推薦入学者選抜実技検査内容について」を参照。〕 <器楽(ピアノ以外)を選択する者> ・自由曲を暗譜で演奏 ・自由曲歌唱 (注)歌唱については、本校教諭が伴奏を行う。	学校所定の受検曲票及び楽譜の提出
	総合	160					45程度	a b 合計(約7名) c d 合計(約38名) a(探究的な学習に関心が高く、大学への進学を目指す者) b(「技術・家庭」に優れた能力を持ち、商業・情報や食物・園芸、保育・福祉のいずれかの分野に興味・関心が高く、資格取得や実習に意欲的な者) b(「英語」に関する興味・関心が高く、英語の学習や資格取得に意欲的な者) c(美術に興味・関心と実績や能力・意欲があり、その学びを継続する意志のある者) c(柔道で優れた実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者、男女約12名) c(女子ハンドボール、野球等で実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有	<cの美術の志願者> ・素描(鉛筆アッサン) <cの柔道、女子ハンドボール、野球の志願者> ・選択種目(柔道、ハンドボール、野球のうちから1つ)	美術の志願者は、当学検査時、中学制作した作品(平作品)1点(大四ツ以上とする)
大門	普通 (情報コース)	120	2年次				12程度	a b c d 合計12名 a(理工系への興味・関心があり、調査書の「学習の記録」が優良である者) b(理工系への興味・関心があり、「数学・理科・英語」のうち、いずれかの2教科について優れた能力・実績がある者) c(理工系への興味・関心があり、芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力・実績がある者) d(理工系への興味・関心があり、生徒会やボランティア活動に積極的に取り組んだ実績がある者)	個人	有		
新湊	普通	120										
	商業	40					18程度	a b c d 合計18名 a(学習活動に顕著な成果がみられ、入学後もさらにその向上を目指す意欲のある者) b(珠算、英語等、商業関連の検定資格を有し、入学後もさらに高度な検定資格取得を目指す意欲のある者) c(部活動において優れた能力や実績があり、入学後も継続して部活動に取り組む意欲のある者) d(生徒会活動、ボランティア活動、地域貢献活動等において功績があり、入学後も継続して取り組む意欲のある者)	個人	有		
高岡	普通	200										
	探究科学 理数科学(約40) 人文社会科学(約40)	80 (約40)										

☆：探究科学科は理数科学科と人文社会科学科の総称である。

学校名	学科名	募集定員	コース開設学年	一般選抜			推薦選抜					
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面接	作文	実技検査内容
高岡工業芸術	機械	40					16程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、技術・家庭の教科が優良で、当該学科の専門科目について学ぶ意欲があり、大学等への進学や資格取得を目指す者) b (ものづくりが好きで、機械の構造に興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (部活動において優れた能力又は実績を持ち、入学後も部活動を継続し、学業と両立する強い意志を持つ者) d (生徒会活動やボランティア活動の実績があり、その活動に貢献した者)	個人	有		
	電子機械	40					16程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (ものづくりが好きで、メカトロニクスやコンピュータの活用に興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有		
	電気	40					16程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (ものづくりが好きで、電気やコンピュータの仕組みに興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有		
	建築	40					16程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、美術、技術・家庭の教科が優良で、当該学科の専門科目について学ぶ意欲があり、大学等への進学や建築技術者を目指す者) b (建築の設計・施工に興味・関心があり、将来、建築技術者を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有		
	土木環境	40					16程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (測量や土木構造物、環境問題に興味・関心があり、将来、土木や環境化学の分野の技術者を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有		
	工芸	30					12程度	a b c d 合計12名 a (国語、美術、技術・家庭の教科が優良で、将来にわたり美術工芸の学習を深めたい者や大学等への進学を目指す者) b (地場産業である木材工芸、金属工芸、漆工芸等の伝統工芸に興味・関心があり、将来、関連分野での活躍を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有	立体製作とそのスケッチ	
	デザイン・絵画	40					20	a b c d 合計20名 a (国語、美術、技術・家庭の教科が優良で、将来、美術やデザインの専門職を目指す者や大学等への進学を目指す者) b (各種応募作品展等で入選実績がある者や、将来、デザイン・絵画等の分野での活躍を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有	鉛筆デッサン	
高岡商業	流通ビジネス	80					40	a b c d 合計40名	個人	有		
	国際ビジネス	40					20	a b c d 合計20名	個人	有		
	会計ビジネス	40					20	a b c d 合計20名	個人	有		
	情報ビジネス	40					20	a b c d 合計20名	個人	有		
伏木	国際交流	120					40程度	a b c d 合計40名 a (調査書の「学習の記録」が優良である者) b (英語等の外国語や国際交流等に興味・関心がある者) <英検3級以上が望ましい> c (サッカー、野球等の運動部や文化部において能力、又は実績があり、入学後も継続できる者) d (生徒会活動やボランティア等で実績があり、入学後も継続する意欲のある者)	個人	有		面接では英単語による面接も行う
高岡南	普通 (人文科学コース)	160	2年次				12程度	a b 合計12名 b (国語・社会・英語の3教科について優れた能力、又は実績を有する者)	個人	有		
	普通 (英語コース)	120	2年次				16程度	a b c d 合計16名 a (調査書の「学習の記録」が優良であり、各教科に対する意欲が高い者) b (英語に優れた能力及び実績があり、さらに高める意欲のある者) c (芸術、文化、体育のいずれかの分野で優れた能力又は実績があり、入学後も継続する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動で実績があり、入学後も活動する意志のある者)	個人	有		面接は英単語による面接も行う



学校名	学科名	募集 定員	コース 開設 学年	一般選抜			推薦選抜										
				傾斜 配点	面接	実技 検査	備考	募集 人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面接	作文	実技検査 内容	備考				
氷見	普通	120															
	農業科学	(20)						8 程度	a b 合計(約4名) c d 合計(約4名) b (理科・技術・家庭に優れ、植物の栽培、地域の農業や自然環境などに興味・関心が高く、実験・実習や資格取得に意欲をもつ者) c (ハンドボール、野球、バレーボール、自転車などの活動に優れた能力や実績があり、入学後もそれらを継続し積極的に活動する意志をもつ者) d (生徒会活動・ボランティア活動等において優れた能力や顕著な実績があり、入学後も積極的に活動する意志のある者)	個人	有						
	海洋科学	(20)						8 程度	a b 合計(約4名) c d 合計(約4名) b (理科・技術・家庭に優れ、海洋生物や環境、操船技術、水産物の調理加工の分野に興味があり、実験・実習や資格取得に意欲をもつ者) c d (農業科学科のc dに同じ)	個人	有						
	ビジネス	40						18 程度	a b 合計(約6名) c d 合計(約12名) b (英語、国語又は社会に優れ、ビジネスの分野に興味があり、実習や資格取得に意欲をもつ者) c d (農業科学科のc dに同じ)	個人	有						
	生活福祉	40						18 程度	a b 合計(約8名) c d 合計(約10名) b (国語、英語、技術・家庭に優れ、福祉・看護や保育、食物栄養・調理、被服などに興味があり、実験・実習や資格取得に意欲をもつ者) c d (農業科学科のc dに同じ)	個人	有						
砺波	普通	160															
砺波工業	機械	80						32 程度	a b c d 合計(32名) a (数学、理科、技術・家庭が優良で専門技術に興味・関心があり、工業系の大学等をめざす者) b (機械加工やものづくりに興味・関心があり、機械製図検定などの資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者) c (部活動において優れた能力又は実績があり、入学後の部活動で継続して意欲的に取り組んでいく意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志がある者)	個人	有						
	電気	40						16 程度	a b c d 合計(16名) a (機械科のaに同じ) b (電気の配線やものづくりに興味・関心があり、電気工事士などの資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有						
	電子	40						16 程度	a b c d 合計(16名) a (機械科のaに同じ) b (電子・情報技術やものづくりに興味・関心があり、電気通信の工事担任者やITパスポートなどの資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有						
南砺	普通	160															
	国際	30						10 程度	a b c d 合計10名 a (学習活動全般にわたり真面目に取り組む、その成果が認められる者) b (英語に優れ、外国文化に興味・関心のある者) c (芸術・文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があり、入学後も活動し、学習との両立を目指す者) d (生徒会活動、ボランティア活動等に自発的、継続的に取り組んだ実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者)	個人	有						面接は英語による面接を含む
	農業環境	30						12 程度	a b c d 合計12名 a (国際科のaに同じ) b (農業に興味・関心が高く、農業や農業土木に関する進路を目指す者) c (国際科のcに同じ) d (国際科のdに同じ)	個人	有						
	福祉	30						15	a b c d 合計15名 a (国際科のaに同じ) b (高齢者福祉・障害者福祉について興味・関心が高く、福祉に関する進路を目指す者) c (国際科のcに同じ) d (国際科のdに同じ)	個人	有						
南砺平	普通	30															
石動	普通	120															
	商業	40						18 程度	a b c d 合計18名 a (学習活動全般に工夫をし、その成果が見られ、さらに向上を目指す者) b (商業の学習に関連する検定資格(珠算、英語、情報処理等)を持ち、さらに資格取得を目指す者) c (ホッケー、野球、その他の部活動や社会体育活動に優れた能力又は実績があり、入学後もその活動を継続し、学習との両立を目指す者) d (生徒会活動や社会奉仕的活動に顕著な実績があり、入学後も継続して活動することを目指す者)	個人	有						

	全日制の課程 の入学選抜	一般選抜			推薦選抜		
		傾斜配点	面接	実技検査	面接	作文	実技検査
実施校数	34校	2校	1校	2校	27校	26校	4校
実施学科数	82学科	2学科	3学科	2学科	62学科	61学科	6学科
合計	募集定員	6, 378名			推薦選抜 募集人員 1, 220名		



## 定時制の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	授 業 開 設 形 態	作文	面接	学力検査	備 考
新川みどり野	普 通	約 120	昼間単位制 I 部(約40) 昼間単位制 II 部(約40) 夜間単位制(約40)	有	個人	国 数 語 学	
	福 祉 教 養	約 40	昼間単位制 I 部	有	個人		
富 山 工 業	機 械	約 40	夜間制	有	併用	国 数 語 学	・生産機械科は富山県技術専門学院短期課程の生徒を対象とする。 ・第2次選抜の検査実施日は、令和4年3月30日(水)の予定。
	電 気	約 40	夜間制	有	併用		
	生 産 機 械	約 40	夜間制(技能連携)	有	併用		
雄 峰	普 通	約 200	昼間単位制 I 部(約80) 昼間単位制 II 部(約40) 夜間単位制(約80)	有	個人	国 数 語 学	
	総合ビジネス	約 40	夜間単位制	有	個人		
	生活文化	約 40	昼間単位制 I 部	有	個人		
志 貴 野	普 通	約 80	昼間単位制 I 部(約40) 夜間単位制(約40)	有	個人	国 数 語 学	
	国際教養	約 40	夜間単位制	有	個人		
	総合ビジネス	約 80	昼間単位制 I 部(約40) 昼間単位制 II 部(約40)	有	個人		
	生活文化	約 40	昼間単位制 II 部	有	個人		
小 矢 部 園 芸	園 芸	約 40	昼間単位制	有	個人	国 数 語 学	
と な み 野	普 通	約 80	昼間単位制 I 部(約40) 昼間単位制 II 部(約40)	有	個人	国 数 語 学	
	総合福祉	約 40	昼間単位制 I 部	有	個人		
合 計		約 960					

## 通信制の課程 入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	選抜方法	提 出 書 類
雄 峰	普 通 衛生看護	約 300	面 接 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学願書(学校所定のもの)</li> <li>・調査書(ただし、平成28年3月以前の卒業者については、出身中学校等の卒業証明書をもって代えることができる)</li> <li>・衛生看護科を志願する者は、富山市医師会看護専門学校准看護学科の合格証の写し</li> </ul>

## 専攻科 学校別入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	選抜方法	提 出 書 類
中 央 農 業	農 業	約 10	面 接 作 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学願書(学校所定のもの)</li> <li>・卒業見込み証明書又は卒業証明書</li> <li>・出身高等学校長等又は地域農林振興センター所長の推薦書(学校所定のもの)</li> </ul>
	・若い手育成コース			
	・庭園コース	約 10	面 接 作 文 実 技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学願書(学校所定のもの)</li> <li>・履歴書(学校所定のもの)</li> </ul>
雄 峰	生活科学 ・調理師養成課程 (午前部) (午後部)	60 (30) (30)	面 接 作 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学願書(学校所定のもの)</li> <li>・高等学校等調査書又は成績証明書</li> <li>・成績証明書を提出した者のみ卒業証明書</li> </ul>
小 矢 部 園 芸	園 芸	約 40	面 接 作 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校所定の入学願書</li> <li>・履歴書</li> <li>・高等学校等卒業見込み証明書又は卒業証明書等</li> </ul>
合 計		約 120		

# 令和4年度富山県立高等学校全日制の課程第1学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
入 善	普 通 (自然科学コース)	160	(※)
	(観光ビジネスコース) 農 業	30	(※) ※
桜 井	普 通	120	
	土 木	40	※
	生 活 環 境	40	※
魚 津	普 通	160	
魚津工業	機 械	40	※
	電 気	40	※
	情 報 環 境	40	※
	(電子機械コース) (化学工業コース)		
滑 川	普 通	80	
	普 業	40	※
	商 業	40	※
	海 洋	40	※
上 市	総 合	150	※
雄 山	普 通	120	
	生 活 文 化	30	※

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
中央農業	生 物 生 産 (作物科学コース)	78	※
	(動物科学コース)		
	園 芸 デ ザ イ ン (園芸福祉コース)		
	(環境緑化コース)		
	バ イ オ 技 術 (生物工学コース) (食品加工コース)		
八 尾	普 通 (福祉コース)	160	(※)
富 山 西	普 通	160	
富 山	普 通	200	探究科学科
	理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	80	
富 山 中 部	普 通	200	探究科学科
	理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	80	
富山北部	普 通 (体育コース)	120 (約40)	(※ 定員の内数)
	くすり・バイオ	80	※
	情 報 デ ザ イ ン	40	※
	富山工業	機 械 工 学	80
	電 子 機 械 工 学	40	※
	金 属 工 学	40	※
	電 気 工 学	80	※
	建 築 工 学	40	※
	土 木 工 学	40	※
富山商業	流 通 ビ ジ ネ ス	80	※
	ビ ジ ネ ス マ ネ ジ ム ン ト	40	※
	会 計 ビ ジ ネ ス	40	※
	情 報 ビ ジ ネ ス	80	※
富山いずみ	総 合	150	※
	看 護	40	※
富 山 東	普 通 (自然科学コース)	240 (約40)	(※ 定員の内数)
富 山 南	普 通 (国際コース)	200	(※)
呉 羽	普 通 (音楽コース)	230 (約30)	(※ 定員の内数)

学校名	学科名	募集定員	備考
小 杉	総 合	160	※
大 門	普 通 (情報コース)	120	(※)
新 湊	普 通 商 業	120 40	※
高 岡	普 通 理 数 科 学 人 文 社 会 科 学	200 80	探究科学科
高岡工芸	機 械	40	※
	電 子 機 械	40	※
	電 気	40	※
	建 築	40	※
	土 木 環 境 (土木工学コース) (環境化学コース)	40	※
	工 芸 デザイン・絵画	30 40	※ ※
高岡商業	流通ビジネス	80	※
	国際ビジネス	40	※
	会計ビジネス	40	※
	情報ビジネス	40	※
伏 木	国 際 交 流 (中国語コース) (韓国語コース) (ロシア語コース)	120	※
高 岡 南	普 通 (人文科学コース)	160	(※)
福 岡	普 通 (英語コース)	120	(※)
氷 見	普 通	120	※
	農 業 科 学	(20)	
		40	
	海 洋 科 学	(20)	
	ビ ジ ネ ス	40	
	生 活 福 祉	40	

学校名	学科名	募集定員	備考
砺 波	普 通	160	
砺波工業	機 械 電 気 電 子	80	※
		40	※
		40	※
南砺福野	普 通 国 際 農 業 環 境 福 祉	160	※
		30	※
		30	※
南 砺 平	普 通	30	
石 動	普 通 商 業	120	※
		40	
合 計		6,378	

- (注1) 桜井高等学校普通科については、募集定員のうち、5名を帰国生徒の受け入れ枠とする。
- (注2) 備考欄の※は推薦入学者選抜の対象学科・コースを示す。
- (注3) 募集定員の記載がないコースは、2年次に開設されるものである。

学科等区分	普通	普通系専門学科		職業系専門学科							総合	合計	対前年度増減
		理数科学 人文社会科学	国際	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉			
学級数	87	6	4	6	2	26	16	3	1	1	12	164	- 2
募集定員	3,460	240	150	158	60	1,030	640	110	40	30	460	6,378	- 92

※ 氷見高等学校の農業科学科と海洋科学科は、農業と水産のそれぞれに1学級として集計

※ 探究科学科は、理数科学科と人文社会科学科の2学科の総称

令和4年度富山県立高等学校定時制の課程  
第1学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
新 川 みどり野	普 通 福祉教養	約120	} 単位制
		約40	
富山工業	機 械 電 気 生産機械	約40	
		約40	
		約40	
雄 峰	普 通 総合ビジネス 生活文化	約200	} 単位制
		約40	
		約40	
志 貴 野	普 通 国際教養 総合ビジネス 生活文化	約80	} 単位制
		約40	
		約80	
		約40	
小矢部園芸	園 芸	約40	単位制
となみ野	普 通 総合福祉	約80	} 単位制
		約40	
合 計		約960	

令和4年度富山県立高等学校通信制の課程  
第1学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
雄 峰	普 通 衛生看護	} 約300	} 単位制
合 計		約300	

令和4年度富山県立高等学校専攻科  
第1学年募集定員

学 校 名	学 科 名	募集定員	備 考
中央農業	農 業 ・抱い手育成コース ・庭園コース	約10	
		約10	
富山いずみ	看 護	40	富山いずみ高校看護科 卒業者を対象とする。
雄 峰	生活科学 ・調理師養成課程	60	
小矢部園芸	園 芸	約40	
合 計		約160	

令和4年度富山県立高等学校全日制の課程普通科通学区域

高 等 学 校 名	通 学 区 域
富山県立 入 善 高等学校 富山県立 桜 井 高等学校 富山県立 魚 津 高等学校 富山県立 滑 川 高等学校 富山県立 雄 山 高等学校	魚 津 市 滑 川 市 黒 部 市 下新川郡 中新川郡 富 山 市
富山県立 八 尾 高等学校 富山県立 富 山 西 高等学校 富山県立 富 山 高等学校 富山県立 富山中部 高等学校 富山県立 富山北部 高等学校 富山県立 富 山 東 高等学校 富山県立 富 山 南 高等学校 富山県立 呉 羽 高等学校	富 山 市 魚 津 市 滑 川 市 黒 部 市 下新川郡 中新川郡 高 岡 市 氷 見 市 射 水 市
富山県立 大 門 高等学校 富山県立 新 湊 高等学校 富山県立 高 岡 高等学校 富山県立 高 岡 南 高等学校 富山県立 福 岡 高等学校 富山県立 氷 見 高等学校	高 岡 市 氷 見 市 射 水 市 富 山 市 砺 波 市 小 矢 部 市 南 砺 市
富山県立 砺 波 高等学校 富山県立 南砺福野 高等学校 富山県立 南 砺 平 高等学校 富山県立 石 動 高等学校	砺 波 市 小 矢 部 市 南 砺 市 高 岡 市 氷 見 市 射 水 市

(注) 富山県立高等学校の全日制の課程に置く普通科以外の学科及び定時制の課程の通学区域は、県下一円とする。



## 令和4年度富山県立高等学校入学者選抜日程

項	目	期 間	等	
中学校学習成績等一覧表の提出		1月18日(火)まで		
県外海外区域外志願者の特別事情申請の受付		1月14日(金)午前9時～2月21日(月)正午 (ただし、区域外からの推薦選抜志願の場合は、 1月21日(金)正午までとする。)		
全  日  制	推 薦 選 抜	志 願 期 間	2月2日(水)午前9時～2月4日(金)正午	
		志願者の中学校学習成績等一覧表の提出	2月7日(月)まで	
		面接等実施期日	2月10日(木)	
		合格内定の通知	2月15日(火) (午前10時から正午までの間に通知書を 投函し、郵送する。)	
		合格者の発表	3月16日(水)午後0時30分	
	一 般 選 抜	志 願 期 間	2月22日(火)午前9時～2月25日(金)正午	
		学力検査実施期日	3月8日(火)・3月9日(水)	
		追検査実施期日	3月14日(月)	
		合格者の発表	3月16日(水)午後0時30分	
	全日制第2次		志 願 期 間	3月17日(木)午前9時～3月18日(金)午後4時
合格者の発表			3月23日(水)午後0時30分	
定 時 制	単 位 制 前 期	第1次	志 願 期 間	2月22日(火)午前9時～2月25日(金)正午
			検 査 実 施 期 日	3月8日(火) 3月9日(水) 面接予備日
			合格者の発表	3月16日(水)午後0時30分
		第2次	志 願 期 間	3月17日(木)午前9時～3月18日(金)午後4時
			検 査 実 施 期 日	3月23日(水)
			合格者の発表	3月25日(金)午後0時30分
	単 位 制 以 外	第1次	志 願 期 間	3月17日(木)午前9時～3月18日(金)午後4時
			検 査 実 施 期 日	3月23日(水)
			合格者の発表	3月25日(金)午後0時30分
		第2次	志 願 期 間	3月25日(金)午後1時～3月28日(月)午後4時
			検 査 実 施 期 日	3月23日(水)
			合格者の発表	3月25日(金)午後0時30分
通 信 制		志 願 期 間	3月17日(木)午前9時～3月18日(金)午後4時	
		検 査 実 施 期 日	3月23日(水)	
		合格者の発表	3月25日(金)午後0時30分	
通信制第2次		志 願 期 間	3月25日(金)午後1時～3月28日(月)午後4時	

(注)「定時制の課程の単位制以外」、「通信制の課程」の第2次検査実施日、及び「定時制の課程の単位制」で第2次選抜後に再度選抜を行う場合の検査実施日は、各高等学校長が定め、志願者に通知する。

項	目	期 間	等
定 時 制	単 位 制 後 期	志 願 期 間	9月1日(木)午前9時～9月5日(月)正午
		検 査 実 施 期 日	9月9日(金)
		合格者の発表	9月13日(火)午後0時30分

## 富山県立高等学校入学者選抜に関する問い合わせ先

富山県教育委員会 県立学校課 高校教育係

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号  
電話 076-444-3450 (直通)  
FAX 076-444-4437

県立学校課ホームページ

<https://www.pref.toyama.jp/3003/kensei/kenseiunei/kensei/soshiki/30/3003.html>

※ 富山県内の中学校及び市町村教育委員会からの問い合わせは、東部教育事務所、又は、西部教育事務所へお願いします。